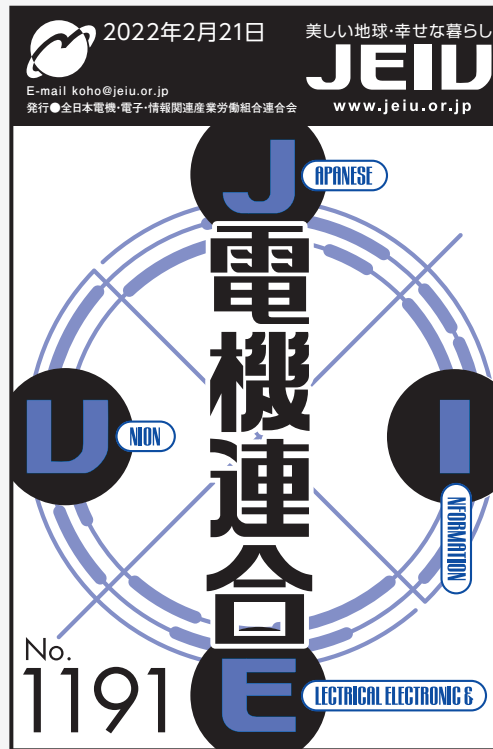




矢田わか子★イベント



やたわカフェLIVE



▲やたわカフェブース

第108回中央委員会終了後、矢田わか子議員初のYouTubeライブ、「やたわカフェ LIVE」を配信しました。ストーリー漫画「矢田わか子はあなたと動いて未来を変えたいっ!」を中心に、「働く」「暮らす」「育てる」の3つの政策に至った経緯や議員になってからのエピソードなど、トークライブならではの会話の後、激励集会の様子を届けました。

「やたわチャンネル」で見られます!



激励集会

「やたわカフェ LIVE」にあわせて、「矢田わか子 激励集会」を開催しました。3つのサプライズ演出により、矢田議員、そしてオンラインで参加されていた皆さんも感極まり、感動の集会となりました。矢田議員からは、2期目の挑戦に向け、皆さんとともに残り半年を全力で進む力強い決意が表明されました。



「コロナ禍の妊婦の切実な声」を最初に届けた組合員さん(スクリーン)



IR法案成立時、貴重な声を届けた「ギャンブル依存症問題を考える会」田中代表



息子さんからのメッセージに感極まる矢田議員



浅野議員も駆けつけていただきました。



一緒に未来を作ませんか?

「矢田わか子 サポートーズ」絶賛募集中!

政策実現に向け、あなたの声を募集中!



登録はこちらから

Let's★脳トレーニング

多忙な毎日からちょっと離れて、クイズで一息ついてみませんか?

それぞれのブロックで、四字熟語を2つずつ作ってください。そして、それぞれのブロックで余った漢字を組み合わせてできる二字熟語を教えてください。

鋭進生
後化気
事新大

来貫千
客万終
始一変

難易度

答え



●応募方法 ①クイズの答え、②氏名、③自宅住所(〒も忘れなく)、④年代・性別、⑤組合名・支部名をご記入のうえ、下記までお送りください。紙面に関するご意見・ご要望もお待ちしております。ご応募いただいた方の中から抽選で1名の方に「毎日の衣類ケアに『衣類スチーマー』」(HITACHI)を、19名の方に電機連合オリジナルQUOカード(2,000円分)を差し上げます。

●応募先メールアドレス...cfv02498@jeiu.or.jp

※件名に必ず「電機・脳トレ No.1191」と記載してください。

電機連合の公式サイト(<https://www.jei.or.jp>)から応募する方は、クイズ応募の際にパスワード [mar25] を入力してください。

ご応募お待ちしております!

●締め切り 2022年3月25日(金)

●No.1189の答え 4

●当選者発表 応募総数は、925通でした。田中理絵さん(三菱電機労働組合)には「衣類スチーマー」を、ほか当選された19名の方にはオリジナルQUOカード2,000円分をお贈りします。おめでとうございます。



PRESENT
衣類スチーマー
1名様



PRESENT
QUOカード
19名様



あいさつ要旨

中央執行委員長 神保 政史

2022年総合労働条件改善闘争について

世界経済のGDP成長率は、2022年は4.9%と回復傾向にある。日本は3%程度と各国に比べ力強さに欠けるものの、国内経済は持ち直しと成長が見込まれている。電機産業全体の業績は前年から大幅に回復する見込みだ。厳しい環境下で事業継続と発展に懸命に取り組んできた結果であり、この成果の配分を求めていると考えている。

電機連合は2014年より賃金水準の改善に取り組み、一定の成果を上げてきた。しかし、日本の賃金水準は1997年をピークに下降傾向にあり、OECDの中でも水準、伸び率ともに低位にある。このことは、20年以上にわたり日本社会全体で適切な配分がなされてこなかったことを意味しており、労働組合としてこの課題を真摯に受け止める必要がある。継続した賃金水準の改善を果たし、組織内外へ波及させていく取り組みを一層強化していかなくてはならない。2022年闘争は従来以上に社会的責任を果たさなければならない闘争になる。電機産業労使が真摯に対話を重ね、産業・企業の現状と課題の共有、また、その解決に向けて積極的に労使協議を展開し、成果に対する適正な処遇、配分を求めていくとともに、社会へ強いメッセージを発信していく闘争にしていきたい。



第49回衆院選と第26回参院選について

昨年の衆院選では、「浅野さとし」に対する皆さまからのご支援をいただき、悲願の小選挙区での2期目の勝利を収めることができました。

私たちはコロナ禍で、政治が果たすべき役割とその重要性を強く感じるようになった。信頼できる健全な政治を実現しなければ、日本の将来展望は開けない。現場の声を届けられる議員を一人でも多く国政に送り込まなくてはならない。今夏の参院選における「矢田わか子」の2期目の挑戦は、電機連合の政策実現力を高める観点からも非常に重要な取り組みである。皆さんとともに全力で進めていきたい。

ファミリーサポート共済

2022年6月からの主な制度改定

ファミリーサポート共済は、2022年6月からの制度改定で、高血圧症に関する加入引受基準を一部緩和(健康状態についての質問事項の見直し)します。また、「ほっとあんしんコール」(健康・介護相談ダイヤル)の利用対象者を、加入者(被共済者)全員に拡大します。詳しくは組合へお問合せ下さい。

お問合せ、お申込みは、
ご所属の組合へ
電機連合福祉共済センター/代理店マックス
<https://kyosai.jei.or.jp>



あなたのキャリア(しごとと人生)と一緒に考えます

電機連合キャリアデザインセンター

●1週間前の事前予約制・通話料無料
●相談日時...原則毎週水曜日(祝日・年末年始除く)
17:00~20:00
詳しくは電機連合HPへ

元気ですか?

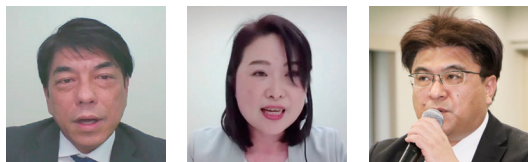
電機連合ハートフルセンター

専門医やカウンセラーから無料でアドバイスを受けられます。
●フリーダイヤル(通話料無料)
☎0120-331-556
●通話料有料
☎03-3455-4120
●相談日時...月~金曜16:00~20:00



全議案が可決承認

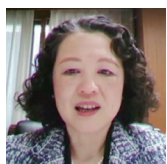
電機連合は、2022年1月27日に第108回中央委員会をオンライン(Web会議)システムで開催しました。第1号議案「加盟組合承認等に関する件」では、一括加盟組織への新規加盟が8組合紹介されました。第2号議案「2022年総合労働条件改善闘争に関する件」では、7名の中央委員から意見・要望が出されたのち可決されました。また、「労働協約指標の見直しに関する件」、「電機連合会館の権利変換計画同意に関する件」、「規程の一部改訂に関する件」、「顧問の委嘱に関する件」についても、全て可決されました。



議長団

野畑 中央委員 (東芝グループ連合) 櫻井 中央委員 (OKIグループ連合) 霜垣 中央委員 (新日本無線労働組合)

来賓の方々



連合
芳野 友子 会長



金属労協
金子 晃浩 議長



国民民主党
玉木 雄一郎 代表



電機連合政治顧問
浅野 さとし 氏



電機連合政治顧問
矢田 わか子 氏

第1号議案 加盟組合承認等に関する件

一括加盟組織へ加盟された皆さん



パナソニックグループ労連
アットフィールズ
テクノロジー労働組合
土井 仁志 委員長



東芝グループ連合
キオクシア岩手
労働組合
栗津 謙二 委員長



日立グループ連合
エッペンダルフ・ハイマック・
テクノロジー労働組合
瀬谷 貴光 委員長



全富士通労連
FCNT
労働組合
大類 誠一 委員長



パナソニックグループ労連
パナソニックリビング
ホームエンジニアリング労働組合
増田 広晃 委員長



日立グループ連合
リンクステック
労働組合
宮田 勝美 委員長



OKIグループ連合
OKIネクステック
労働組合
渡辺 誠 委員長



日立グループ連合
エナジーウィズ
労働組合
保坂 光良 委員長

第2号議案 2022年総合労働条件改善闘争に関する件

中央委員からの意見・要望



日立グループ連合
半沢 美幸 中央委員

賃金引き上げを行うのは当該労使の話し合いと合意によってのみである。この先、国の課題に大きな貢献を果たす電機産業で働く皆さんの賃金は、まさに「人への投資」であり付加価値の源泉そのものである。今次闘争でも我々はしっかりと求め、結果を出さなくてはならない。闘い方について色々な方向性が出てきているが、我々の闘争が社会横断的取り組みであるためには、それぞれが異なる環境の中で、情報を共有し、丁寧に条件をそろえ、相場をつくり共有しながら、全体の運動として仕立てていくことが必要である。日立グループ連合としての役割と責任をもって交渉に取り組む。電機連合には格段の調整力と産別労使交渉の役割を期待する。



パイオニア労連
古庄 孝和 中央委員

パイオニア労働組合は1988年闘争より34年にわたり、闘争の局面に限らず、中間組合としての務めを果たすべく組合活動に邁進してきた。弊労組を取り巻く環境変化に伴い、中間委員の委嘱を辞退する判断に至ったが、これまでの間、厳しい時も電機連合本部の皆さまには多大なる支援をいただき、中間組合代表者の皆さまには温かい言葉をいただいたことに厚く感謝を申し上げる。年々、交渉は難しさを増し、特に統一闘争における「統一」という部分について、労使の考えの隔たりが大きくなってきていると感じているが、拡大中間組合の一員として、波及効果の最大化を意識しながら尽力していく。



パナソニックグループ労連
福澤 邦治 中央委員

賃上げを起点に、物価や企業収益が上昇する好循環を生むことが大切であり、電機労使がまず「賃金の社会性」について共通認識に立って交渉を進め自らが大きなモメンタムを作る必要がある。また現役世代の賃金水準が上がらないと、高齢者の年金支給額も上がらないなど、社会全体への影響は大きい。電機産業で働く者の魅力ある処遇の観点で、賃金水準改善額と併せて政策指標の基幹労働者目標賃金水準額についての労使認識を合わせ、電機統一闘争の持続的な強化につなげていく必要があると考える。国政選挙は矢田わか子の擁立組織として、自らが熱意をもって取り組んでいく。電機の仲間と共に全力で取り組みたい。



東芝グループ連合
荒井 聡 中央委員

デジタル人材や、製造現場の人材が不足しており、電機産業の持続的成長に向けて大きな課題となっている。生産年齢人口の減少が顕著な日本において共通の課題のなかで、電機産業の魅力を一かに向かせるかが喫緊の課題となる。高卒初任給や産業別最低賃金など電機産業労使が正面から向き合い議論する必要がある。また、高齢者の活躍に向けた取り組みが重要となる。東芝グループ連合もしっかりと取り組むが、70歳までの就業機会の確保など産別全体として先駆的な取り組みを行うことも、電機産業の魅力を高めるのではないかと。電機連合の強いリーダーシップの発揮をお願いする。



NECグループ連合
塩田 明 中央委員

ジョブ型人事制度への移行や、移行を検討する会社が増え、経営側の意識が高まっている。NECにおいても、制度や運用面に関する労使協議を継続的に行っている。私たち労働組合としてもジョブ型という意味合いや考え方に向き合い、労働組合の立場や考えを経営側に示すことが求められる時期に来ているのではないかと。この春闘を機会ととらえ、経営側と真摯に議論することの意味はあると考える。春季交渉期間中の産別労使交渉において、議論する機会がある際には、建設的な議論が交わされることを期待している。



全富士通労連
板倉 和寿 中央委員

2年前に実現した「人への投資の柔軟性」が、「労働条件の維持・向上」「波及効果の最大化」につながり、定着したことは、組織内で丁寧に議論を重ねてきたがためであり、今次闘争も、ここに来て先行き見通しの不透明感が一層強まる中にあるが、統一闘争の枠組みを堅持することを第一に、中間組合間で互いに違いを認め合う相互理解、相互信頼によって、皆で前進することができる結果を導き出すよう、電機連合本部の丁寧な闘争推進を願いたい。戦術委員組合の一員として役割を果たす。同時に、矢田わか子支持拡大に向けて、これまでの取り組みから前進し、仕上げるに向けた対応強化を図る所存であり、電機連合本部の指導を願いたい。



三菱電機労連
浅田 和宏 中央委員

新型コロナウイルス感染症の拡大により、新たな働き方が定着し、多様な人材が活躍できる就業環境や新たな価値創出が期待できる社会に変貌しつつある。組合活動も進化のチャンスと捉え、活動を模索しなければならないが、「人と人の絆」を構築していくことが組合の基本的役割であることを決して忘れてはならない。今次闘争で大切なことは、組合員の生活実感にどこまで寄り添うことができるかということである。実質賃金の上昇率が先進諸国でもっとも低位と言われているなか、賃上げに対する期待は高まっている。どういう時代になろうとも、賃金の価値を守り労働の価値を高めていくことは、組合にとって不変の取り組みであり、生産性向上による成果の反映と物価上昇への対応を強く経営側に求めていく。



司会：高橋 中央執行委員



会場全景



本部答弁



電機連合
中澤 清孝 書記長

【闘争全般に関して】

電機産業の2021年度通期業績見通しは、組合員の協力・努力によってコロナ禍の厳しさを乗り越え、業績回復・拡大を果たしているところが多い。企業体力、財務体質も安定しているものと考えられる。これらの状況からも成果に対する適正な配分を求めていくべきと考える。各社の真摯な労使交渉を通じ賃金水準改善を求めていくとともに、賃金水準改善を起点とした経済の好循環に結びつけ、社会的責任を果たしていきたい。

中期視点においては、各組織におけるベンチマーク指標、政策指標を活用した達成プログラムの策定など継続的取り組みの強化も願います。

また、中間組合における「人への投資」の柔軟性の定着を図り、引き続き労働条件の維持・向上、波及効果の最大化につなげていく。

【ジョブ型について】

ジョブ型といっても多様な捉え方があり注意が必要である。例えば職務内容・スキル・資格を明確にし、最適な人材配置を行うようなジョブ型人材マネジメントということであれば、一概に否定するものではない。一方で、自社の現行人事制度の何が課題で、ジョブ型の導入により何を解決しようとするのかなど、課題認識もある。各社労使で各種課題を明確にするとともに、組合・従業員が理解・納得できる丁寧な論議が必要と考える。産別労使交渉でも必要に応じて論議していきたい。

【政治について】

コロナ禍での取り組み、そして新たな取り組み方法で皆さんには大変なご苦労をおかけしている。今日ご参加のお一人おひとりをはじめとして、加盟組合の皆さん、電機連合が思いを一つにして、矢田わか子の2期目の挑戦に向け、最後の最後まで、共に全力で取り組みたい。

総括答弁



電機連合
神保 政史 中央執行委員長

電機連合統一闘争における社会的責任と役割は大きい。昨年の闘争で賃金改善を果たした組合は直加盟組合では約6割、全体への波及は道半ばであり、波及効果の最大化に向けた取り組み強化が求められる。まずは、中間組合がしっかりと交渉を進め、拡大中間、地闘に波及するよう取り組んでいきたい。